



株式会社ファミリーマート
<http://www.family.co.jp>

ありがとうの🍀
手紙コンテスト2010

最優秀作品賞 受賞作品集
審査員奨励賞

こどもたちの未来のために…



R100

古紙配合率100%の再生紙を使用しています。

ご報告にあたって

私たちファミリーマートは、ホスピタリティあふれる行動を通じて、お客さまに「気軽にこころの豊かさ」を提案し、より良い社会の実現を目指して地域社会に貢献するべく「ファミリーマートらしさ推進活動」を全企業活動として行っております。

コンビニエンスストアとしては初めてオリジナル商品である「おむすび」にベルマークを貼付し、学校設備の充実にお役立ていただいているのをはじめ、「全日本小学生バレーボール大会」を通じたスポーツ活動の支援、さらにホームページ上で Web 学習コンテンツの「こども EXPO」(2010年度環境 goo ユーザー大賞受賞)を展開するなど社会貢献活動のテーマである「こども支援」に取り組んでおります。

第2回目となります2010年度のコンテストでは、昨年度のおよそ2倍にも上る4,080通の応募をいただきました。こどもたちに応募のきっかけを尋ねますと、「普段は言いにくいけど、こういう機会だったら自分の感謝の気持ちをいえるから」と答えてくれます。

本コンテストを通じて、こどもたちが“ありがとう”の気持ちを素直に言葉にするきっかけとなったり、その大切さを知っていただければ幸いです。

「ありがとう」の気持ちがたくさん詰まったこの作品集には、「最優秀作品賞」14作品、「審査員奨励賞」35作品を取り纏めてあります。いろいろな表現からなる「ありがとう」を是非ご一読ください。

最後に、ファミリーマートは、おかげさまで今年30周年をむかえました。お客さまに育てていただいたこれまでの感謝を忘れずに、これからもお客さまひとり一人と強く、深くつながり、お客さまにとって一番身近なチェーンとなることをめざしてまいります。次回もたくさんの応募をお待ちしています。

平成 23年 2月吉日

株式会社 ファミリーマート
代表取締役社長 上田 準二



ありがとうの手紙コンテスト2010

最優秀作品賞受賞作品紹介
審査員奨励賞受賞作品紹介
学校賞受賞校紹介

昨年度初の試みとして実施しました本コンテストは、夏休みの前に全国22,000校・700万児童に向けてご案内し、結果、7月17日から、9月30日の約2ヵ月半の間で、応募総数4,080通にも上る数多くの応募をいただきました。甲乙付け難い力作の中から選ばれた、全国7つのブロックを代表する最優秀作品賞受賞全14作品と審査員奨励賞全35作品、学校賞受賞校7校をご紹介します。なお、本コンテストの詳細報告は、ファミリーマートのホームページでもご紹介させていただいております。
(<http://www.family.co.jp/arigatou10/>)



その他の活動

こども支援活動

ファミリーマートの社会貢献テーマである「こども支援」の具体的な活動の代表的なものをご紹介します。これらのこどもを応援するさまざまな活動を通して、家族を、地域社会を、未来の社会を応援していきます。

ありがとうの手紙^{てがみ}コンテスト 2010
コンテスト実施概要

主催 株式会社ファミリーマート
後援 全国連合小学校長会／全国市町村教育委員会連合会／全国小学校国語教育研究会／
社団法人 全国子ども会連合会／社団法人 日本家庭生活研究協会／株式会社 教育新聞社

応募期間 平成 22年 7月17日(土)～9月30日(木) **応募資格** 小学校 1年生～6年生

審査 一次、二次、最終審査会と3回の審査を経て決定

最優秀作品賞 低学年部門(1～3年生) 各ブロック1名 合計7名
高学年部門(4～6年生) 各ブロック1名 合計7名
※全国を7ブロックに分割し、審査を実施

審査員奨励賞 各ブロック5名 合計35名 **学校賞** 各ブロック1校 合計7校

応募総数 4,080通 **最終審査会** 平成22年10月26日(火)

審査員講評

審査員長



フリージャーナリスト
池上 彰

第2回目の審査をするにあたり、昨年以上に選ぶことに「困った!」
というのが正直なところ。天国のお父さんに宛てたものも
多く、思いの深さに心を打たれることがしばしばでした。昨年に
比べて大変感銘を受けたことが二つあります。ひとつは表現力
がさらに増していること。家族とのあたたかいふれあいを、
子どもならではの感性で非常にうまく書いていることに驚か
されました。もうひとつは、家族だけでなく、地域の方、登下校に
見守ってくれる方、自分が使っているモノに対する感謝の気持ち
が表現されている作品が多かったことです。忘れていた子ども
の頃の感覚がよみがえったり、新しい視点に気づかされること
も多く、私自身も感性を刺激されましたね。

審査員



児童文学作家

こやま 峰子

今回の応募作品は大変バラエティに富んでおり、本当に楽し
く読ませていただきました。児童クラブの仲間、自分たちの身
の周りの地域の方たち…そういう人々に対する感謝の気持
ちをたくさんの子どもたちが書いてくれたことに、日本の未来
は明るいなあと感じました。そして、感謝の気持ちを表現する
手法がとてもユニークになっていることに驚かされました。
大好きな人のことをちゃんと客観的に見て、細かく書き表して
いるんですね。また来年も楽しみです!

審査員



株式会社 小峰書店
代表取締役社長

小峰 紀雄

今回も全国からたくさんの作品が寄せられました。このコン
クルの趣旨は「ありがとう」という言葉をキーワードにして
自分の気持ちや考えを文字や絵を通して表現することです。
応募された作品のそれぞれに、こどもの皆さんが、家族や地域
社会の中でどのように生きようとしているのかが、よく書かれ
ており心うたれました。日頃感じていることや考えていること
を自分の言葉で表す、手書きで文字にすることはとても大切
なことです。書くことによって自分と家族や地域の人びとの
関わりを発見し、その関係を深めることに通じると思います。
保護者や先生方も、こどもの皆さんからの手紙を受け取って、
大切な発見をするのではないのでしょうか。このコンテストは、
とても意義ある試みだと思います。

審査員



白百合女子大学、
東京成徳大学 非常勤講師

野上 暁

作文や絵のコンクールと違って、呼びかける相手を意識して
描いているから、どの作品もしっかりしたコミュニケーションの
表現になっているのがいいですね。家族や身の周りの人たちの
様子がよくわかる、素晴らしい作品がたくさんありました。表す
手法はいろいろありますが、絵や線取りのデザインなども、いろ
いろな素材を使い、工夫できるのがこのコンテストならではの
楽しさですね。作品のひとつひとつから、書き手から相手への
感謝の気持ちが伝わってきます。これをきっかけに、自分なりの
「ありがとう探し」ができる、すばらしいコンテストだと思います。

審査員



株式会社ファミリーマート
取締役 常務執行役員

加藤 利夫

昨年行った最優秀作品賞受賞者への表彰式の様子を、全国30もの
メディアで取り上げていただいたことは、想像以上のことであり、この
コンテストの「誰かへの感謝の気持ち、ありがとうの気持ちを伝えたい」
という企画主旨に対する関心の高さの表れであると感謝しております。
現在の世相を振り返りますと、時に殺伐さを覚えます。たとえば、電車
の中では、黙々とメールを打ち続ける人、お年寄りに対して座席を譲
らず平然と座り続けている若者の姿など。これらは、若者だけに責任
があるのではなく、このような社会を作り出している我々大人にも
責任があると感じています。しかし、今回応募いただきました素晴ら
しい作品を読んでいますと、日本には、大切な人に「ありがとう」を
伝える文化が、まだまだしっかりと根付いている国なんだとあらためて
感じます。「ファミリー=家族」ということばを社名に冠する企業として、
これからもこのコンテストを続けることで、誰もが「こころの豊かさ」を
感じられる一助になればと考えています。

審査員



毎日新聞「教育と新聞」推進本部長
教育事業担当部長

小野田 正利

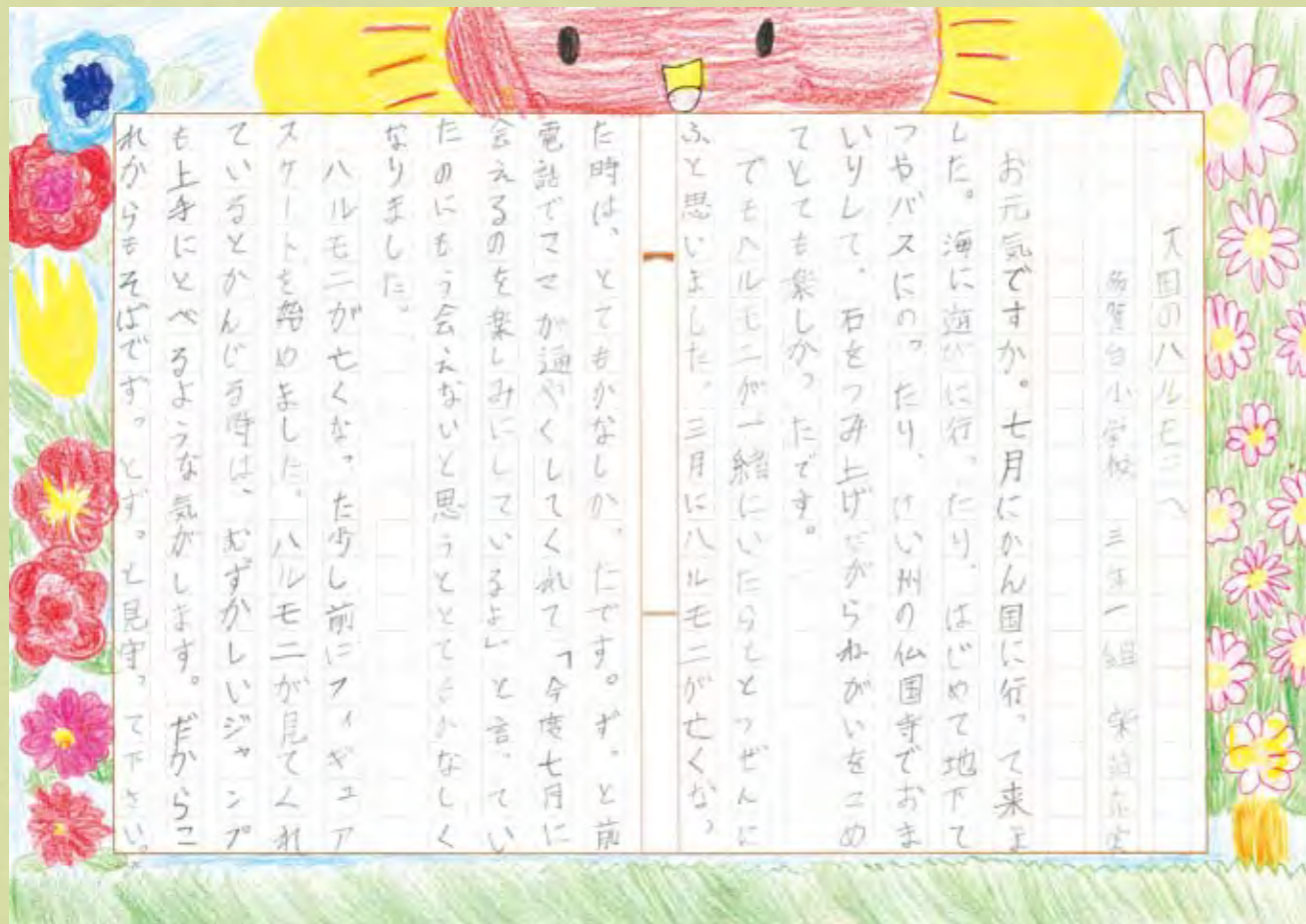
お父さんにとっては、本当にうれしいだろうなあと思う作品が
多く、同じ父親としては思わず涙腺が緩みました。さらに家族
のみでなく地域、友人などを対象にした感謝の気持ちがあらわ
されている作品が多かったのもとてもうれしかったです。
私が携わってきたコンテストは、発達段階や学年についてまず
悩むことが多いのですが、このコンテストはそのものズバリの
内容に感じて審査するということからするととてもよいテーマ
だと思います。「手紙」そのものを書くことが少なくなっている
ので、先生方も手紙を書きかけを指導することができる
素晴らしい題材だと思いますね。

最優秀作品賞

北海道・東北ブロック

低学年の部

しば まなみ
柴 蒔奈実さん (3年)
八戸市立多賀台小学校

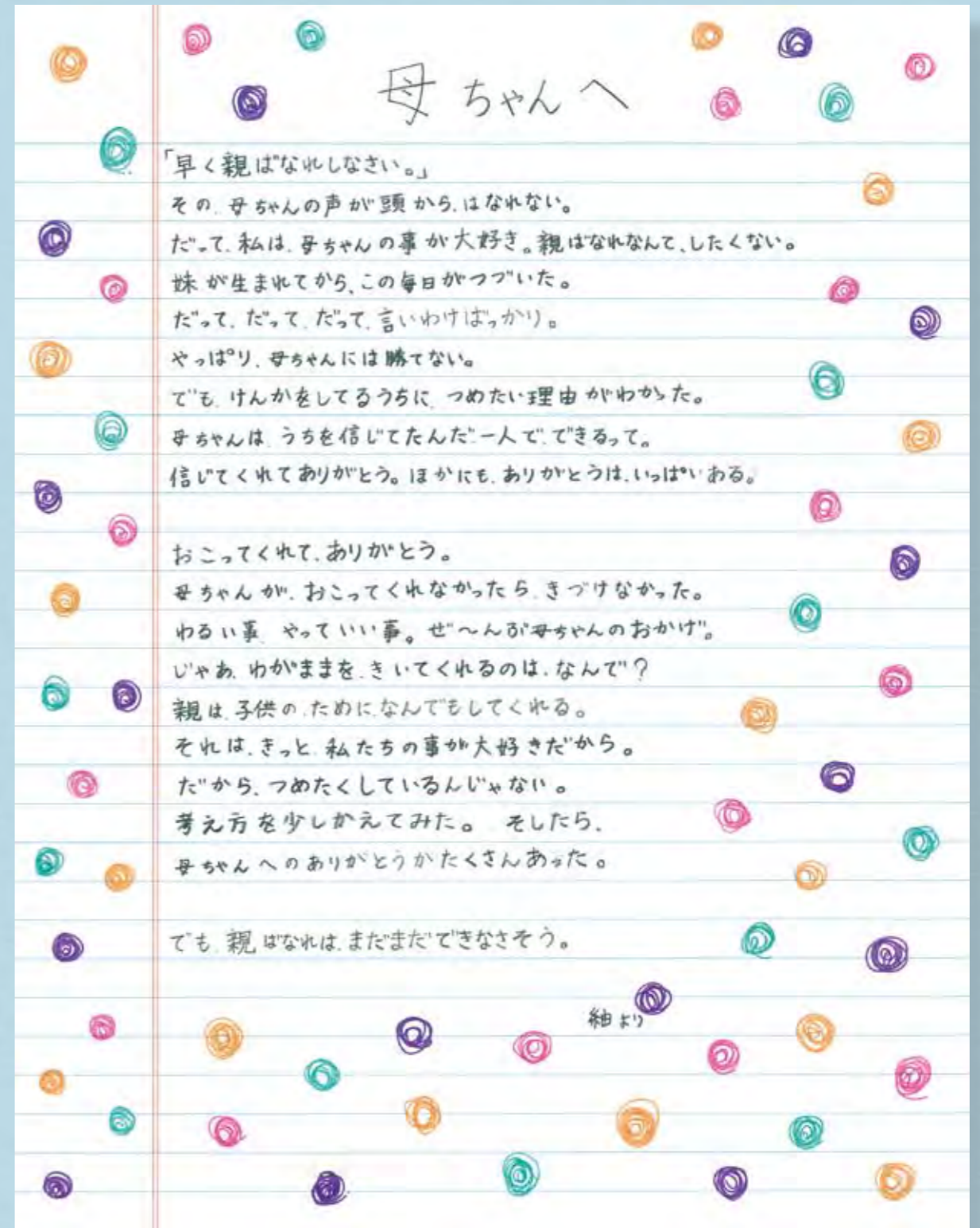


最優秀作品賞

北海道・東北ブロック

高学年の部

こんの つむぎ
今野 紬さん (6年)
遊佐町立高瀬小学校



最優秀作品賞

関東2ブロック

低学年の部

みずの きょう
水野 響さん (2年)
熊谷市立大麻生小学校



おとうさんへ
おとうさん、朝早くから夜おそくまで、おしごとが
んば、てくれておりがとう。おしごとがいそがしくて
月々金まで会えないし土日もしごとでないことがあ
るのでさみしいです。
この前、東京ドームへやきゅうのしあいを見にい
た時、こんでいる電車にのりました。おとうさんがま
い日こんでいる電車にのっていることがわが、たよ、
かえる時、ぼくはつかれて電車であてしましました。
目がさめたら、くまがやえきでおとうさんにおんぶを
されていました。うれしか、たのでそのままおんぶを
をしました。おとうさんのせなかは、あたたかくてき
もちよか、たよ。
いつもきびしいおとうさんだけど、ぼくはおとうさ
んが大好きです。おしごとたいへんだけれど、びょうき
にきをつけてね。
きょうより



最優秀作品賞

関東2ブロック

高学年の部

ちば しおん
千葉 汐音さん (6年)
宇都宮市立泉が丘小学校



お母さんへ



「お母さんを助けて！」
ぼくの前で急にお母さんが倒れた。救急車で運ば
れた病院で「このままでは半日も持ちません。」とお医者
さんに宣告をされた時、ぼくは涙よりも先にこの
言葉をさげんでいたよ。ふるえる手でお医者さんと
看護師さんの白衣をつかんで、何度も何度もカいっ
ぱいにさげんだんだよ。
なぜだろう...「泣いちゃいけない。」って思って、涙
が出そうな気持ちをがまんしていたから、
ぼくの名前を、消えそうな声で呼んでいる
お母さんの手を握ることができなかつたんだ。
怖くて大好きなお母さんの顔すらも見るこ
とができなかつたよ。お母さんが入院して
いる間、家の中は静まりかえって暗かたな。
お母さんの手術は無事成功してむしろ前
よりもパワーアップしたね。主治医の先生、
看護師さん、そして誰よりも、病気に負けずに
今もぼくの横で笑ってくれているお母さん、
本当にありがとう。ぼ
くは笑顔あふれる、
明るいこの家の子で
良かった。嬉しいよ。



汐音より



最優秀作品賞

中部・東海ブロック

低学年の部

まつなが としき
松永 稔生さん (3年)
 静岡市立清水辻小学校



最優秀作品賞

中部・東海ブロック

高学年の部

なおい たくま
直井 拓磨さん (6年)
 郡上市立大和西小学校



ぼくが「ハゲ、ハゲ、お坊さん、といやな言い方をさ
 した時のこと。ぼくが泣き止んだから。始めは笑ってごま
 かしたけど、あんまりしつこくてかまなくてきかなくて。
 そんなら、ぼくであいつにいやなことをやりかえし
 てやる、と思ったよ。バスの中で洋くんと言ったよね。
 「ぼくもやってみよう！」って。その時、洋くんが言ってく
 れた言葉「拓磨君、そんなことやっても解決しんよ。い
 やならしつかり討さないよ。いらいらしていた
 から「洋くんは、言われてないから言えるんだ。」と思っ
 て。本当は腹をたてたよ。でも、家に帰ってもう一度、
 洋くんの言葉を考えてみた。そうだ、何にも変わらない。
 」と思えたよ。だから、洋くんの家にお礼を言おうと思っ
 て行ったんだよ。そしたら洋くんが「確かに拓磨君の気持ち
 ちも分かるよ。やり返しとる子かいけど、そういう拓
 磨君にはなってほしくないな」と言ってくれたよね。ぼ
 くは、今度は涙が出てきたよ。洋くんが友達でよかた
 と思、た、先生がいっつも言、ている本当の友達だと思
 ったよ。ぼくは、やり返ししない、洋くんが友
 達でいてくれて本当にありがとう。

拓磨より



最優秀作品賞

関西ブロック

低学年の部

やました あおい
山下 愛生さん (2年)
 大阪教育大学附属天王寺小学校

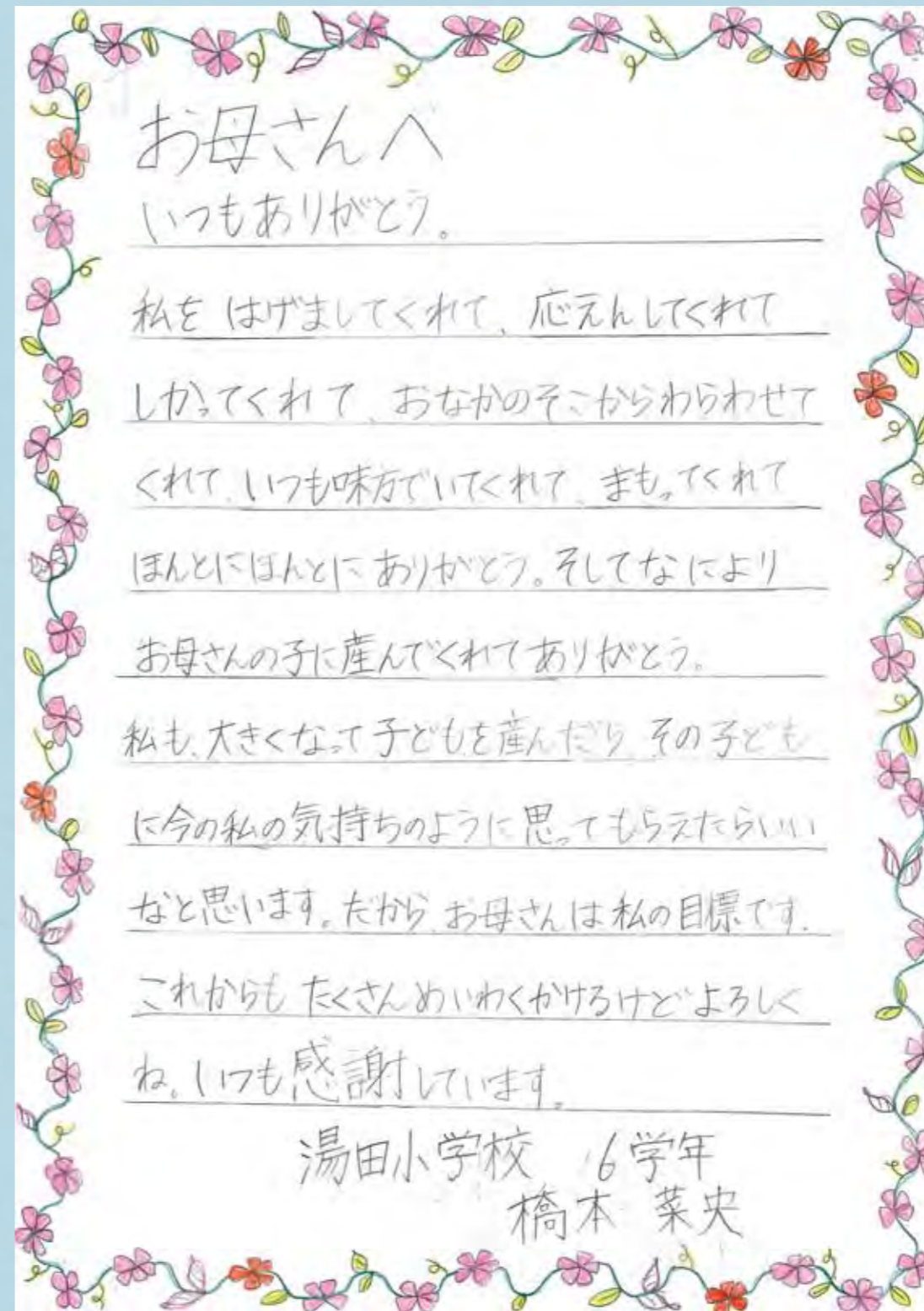


最優秀作品賞

関西ブロック

高学年の部

はしもと なお
橋本 菜央さん (6年)
 長浜市立湯田小学校

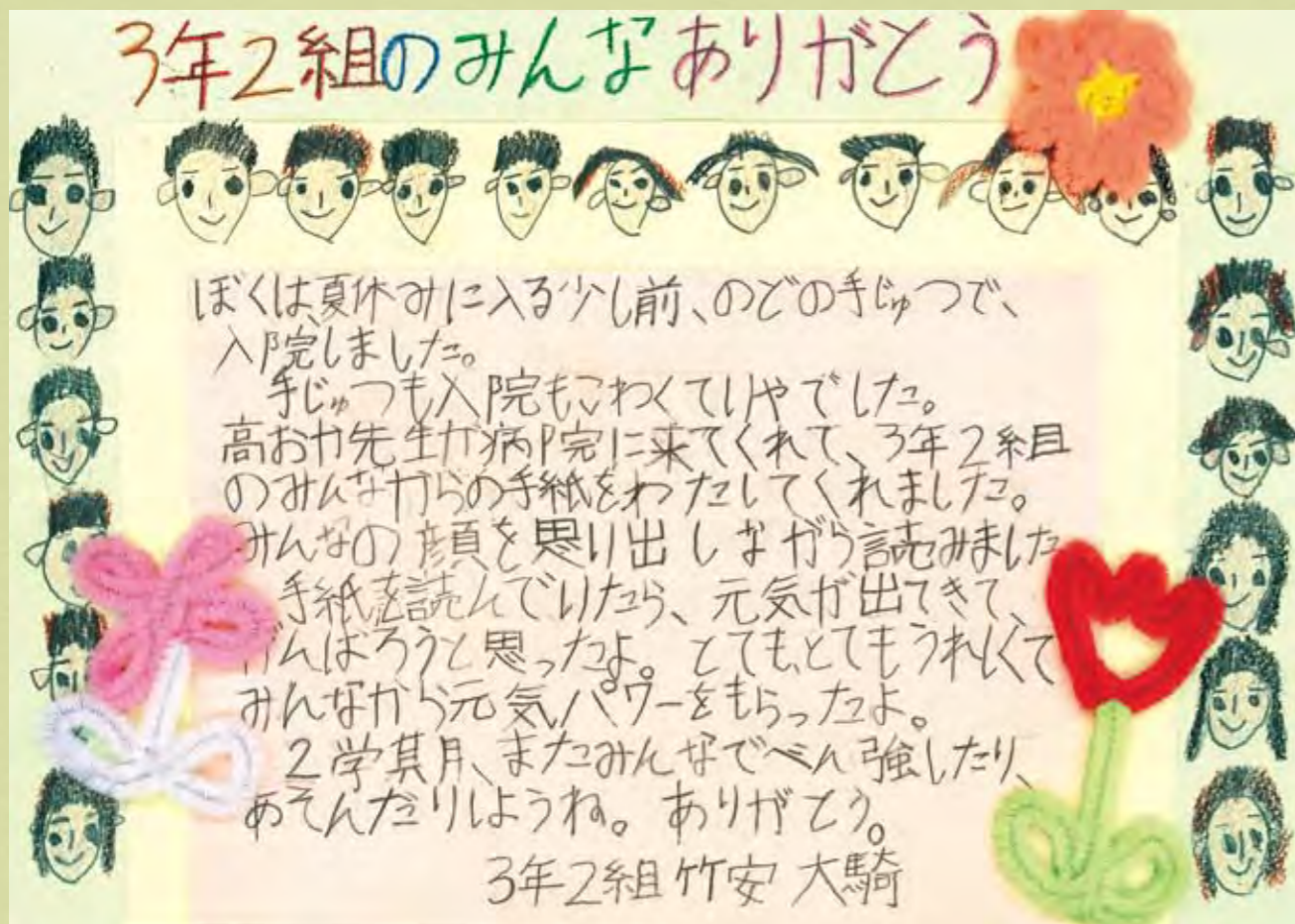


最優秀作品賞

中国・四国ブロック

低学年の部

たけやす たいき
竹安 大騎さん (3年)
松山市立味酒小学校

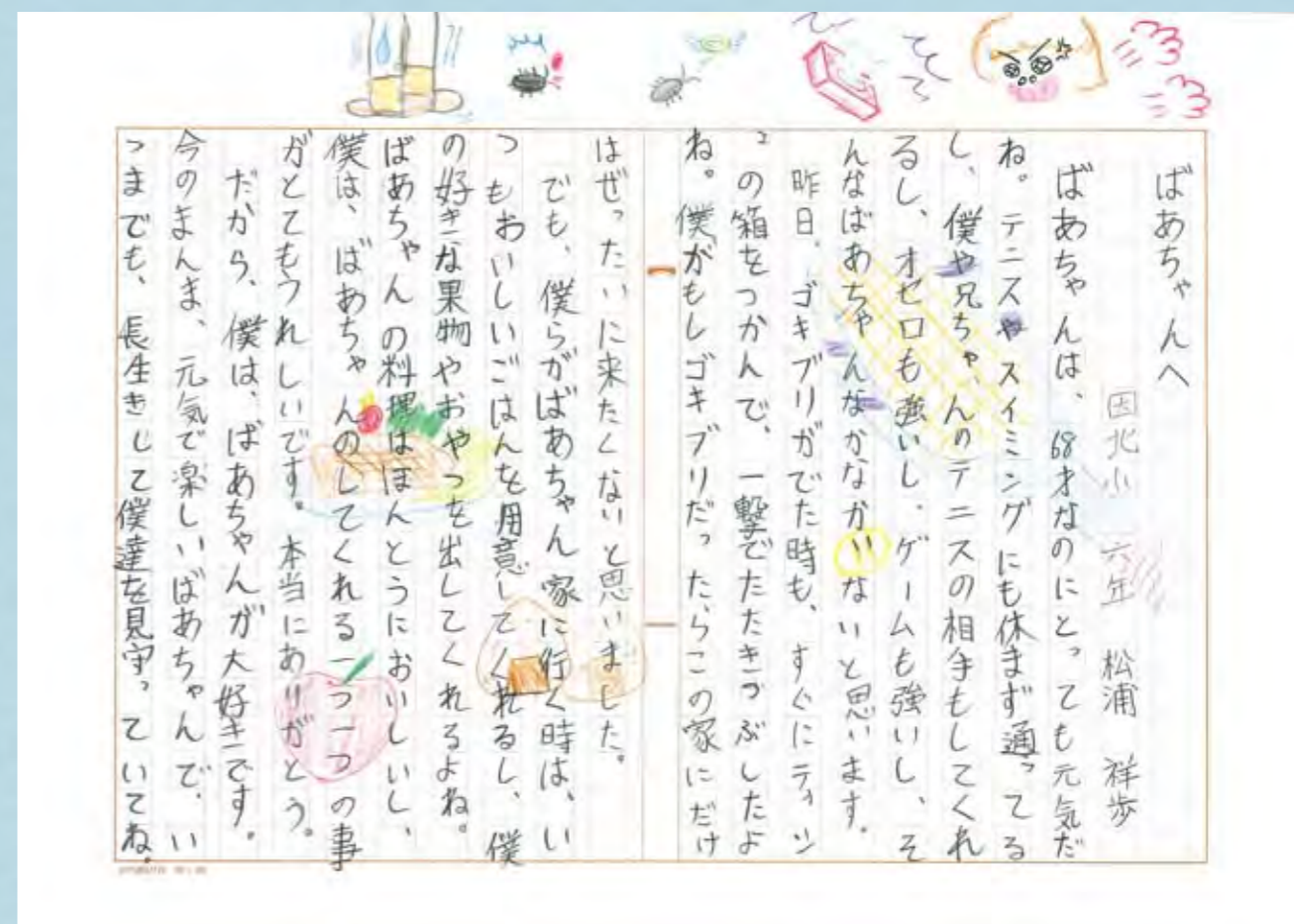


最優秀作品賞

中国・四国ブロック

高学年の部

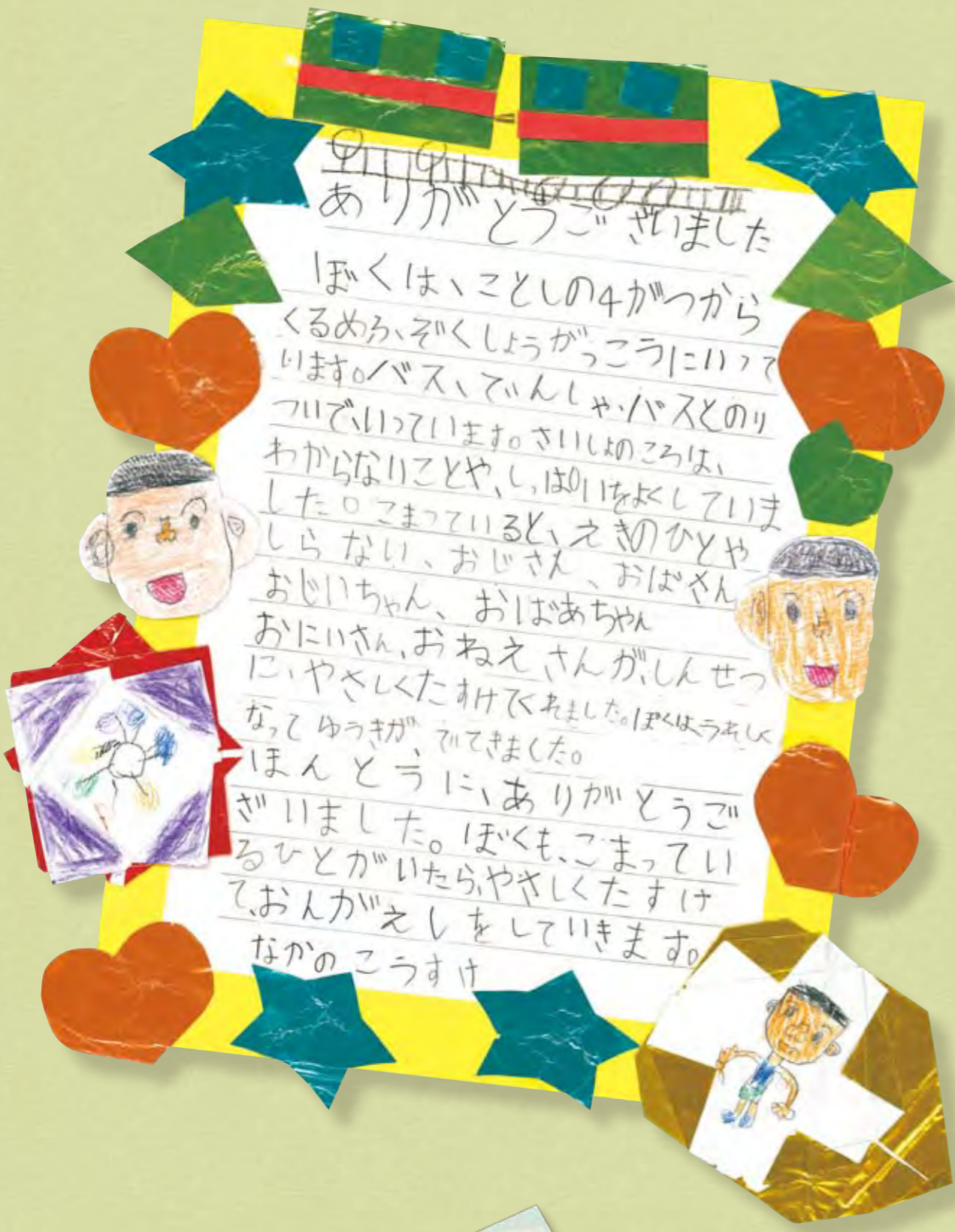
まつうら しょうほ
松浦 祥歩さん (6年)
尾道市立因北小学校



最優秀作品賞

九州・沖縄ブロック
低学年の部

なかの こうすけ
中野 耕佑さん (1年)
福岡教育大学附属久留米小学校

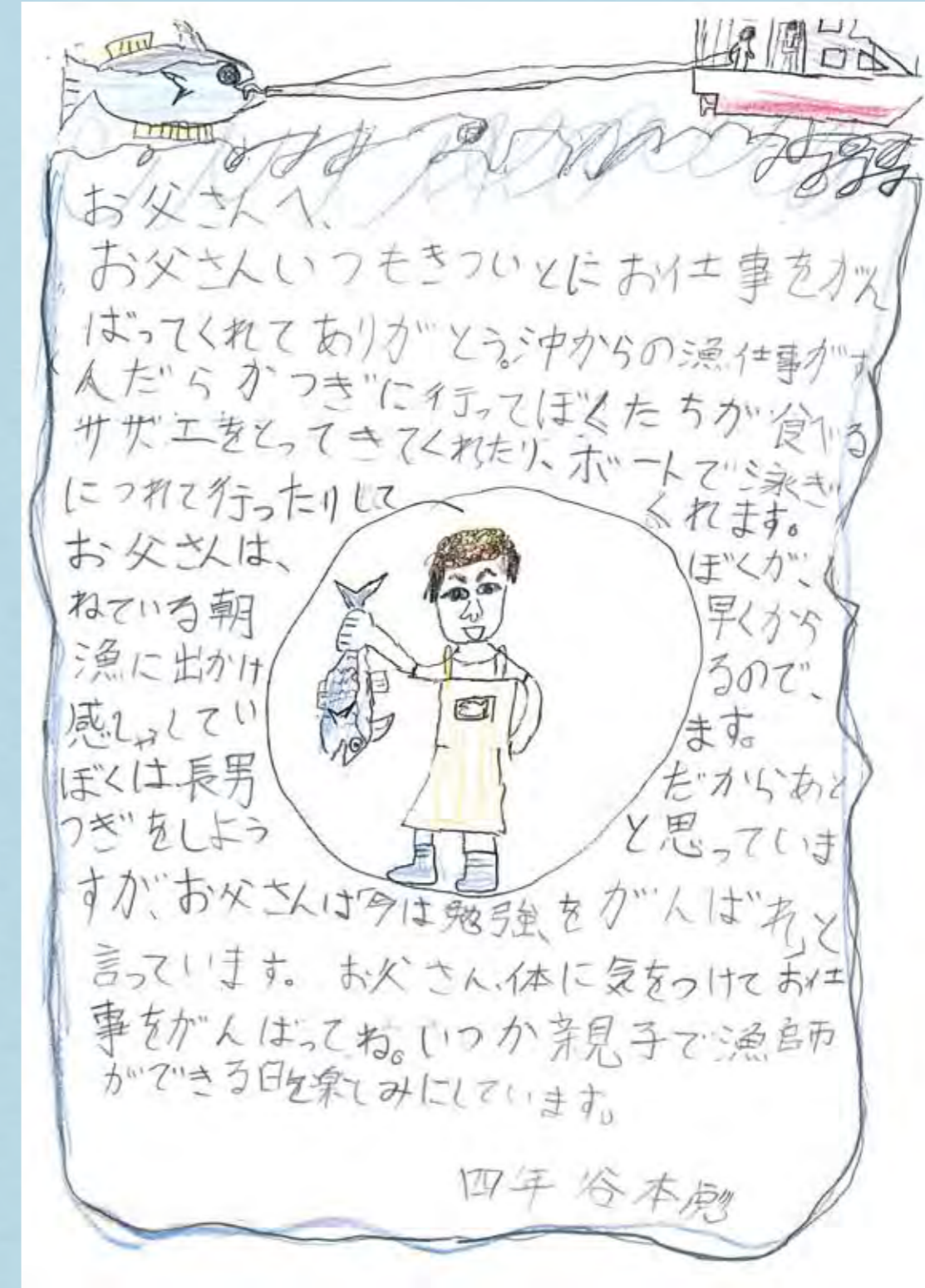


ありがとうございます
 ぼくは、ここの4か月から
 くるめいぞくしょうこうこうにいって
 います。バス、電車、シャブスとのり
 つかいでいって、おさいのころは、
 わからないうちや、しは、おは、おはして、い
 ました。こまわっている、おきかや
 しらない、おじさん、おばさん
 おじいちゃん、おばあちゃん
 おにいさん、おねえさんが、しんせつ
 に、やさしくたねてくれました。ぼくはうれし
 くて、ゆうきが、あてました。
 ほんとうに、ありがとうございます
 がいしました。ぼくも、こまわって
 いるひとがいたら、やさしくたすけ
 て、おんがえしをしていきます。
 なかの こうすけ

最優秀作品賞

九州・沖縄ブロック
高学年の部

たにもと あらた
谷本 彪さん (4年)
対馬市立金田小学校



お父さんへ、
 お父さんいつもきついに、お仕事をかん
 ぱって、くれて、ありがとう。沖からの漁仕事か
 んだら、かつぎに行くと、ぼくたちが、食べる
 サザエをとってきてくれたり、ボートで泳ぎ
 につれて、行ったりして、くれます。
 お父さんは、ぼくが、
 ねている朝、早くから
 漁に出かけ、るので、
 感じ、して、います。
 ぼくは、長男、
 かつぎをしよう、
 と思っ、て、いま
 すか、お父さんは、今は勉強を、かんは、れ、と
 言っています。お父さん、体に気を付けて、お仕
 事を、かんは、って、ね。いつか、親子で、漁師、
 が、できる、日を、楽しみに、しています。

四年 谷本彪

審査員奨励賞

北海道・東北ブロック

たかはし もね
高橋 萌音さん(2年)
湯沢市立稲庭小学校



ひいおばあちゃんは、今年の四月に、
九十六才で、なくなりましたね。とても
元気だったので、今でもしんじられます。
ひいおばあちゃんは、いつも、わたしをほめて
くれましたね。
うたがとでもじょうずだね。
絵がとでもじょうずだね。
毎日、わたしをほめてくれました。
ひいおばあちゃんには、いつもここにこえかおてした。
かぞくみんなに、「ありがとう」といって、こ
えかおて言っていました。わたしは、たった七年しか
いっしょにくらせなかつたけれど、とてもうれしか
たです。ひいおばあちゃんありがとう。

わたしも、ひいおばあちゃんのように、
毎日ここにこえかおてが、んばります。
天ごくで見えていてください。

たかはし もね

審査員奨励賞

北海道・東北ブロック

たかやま はるみ
高山 晴海さん(2年)
八戸市立多賀台小学校



おかあさんのおじい
おかあさんは、
ようちえんではたらいて、
おうちでもはたらく。
ようちえんでは、
小さな子どものをせわをして、
おそくまではたらく。
おうちでは、
おりまったりしたり、
せんたくしたり
ようちえんをたたりする。
そして、ようちえんのおしごとをする。
とてもすこい、はたらきもの。
ようちえんでは、はたらいているとき、顔は、
とてもしんけん。
でも、わたしといるときは、とてもうれしそ
う。
ほんとうにと、もはたらきもの
そんなおかあさんが、大きき
ありがとう。



高山晴海

審査員奨励賞

北海道・東北ブロック

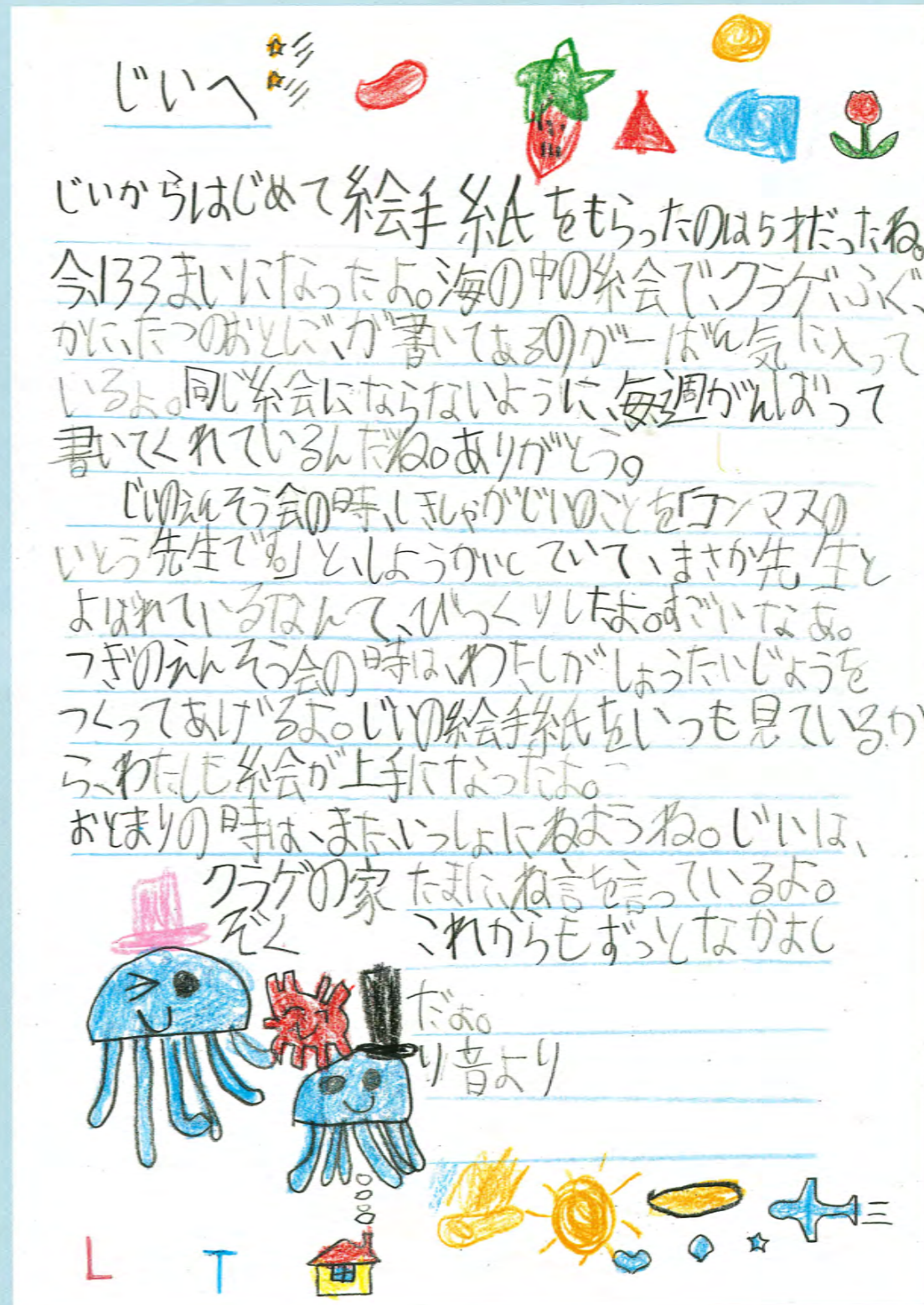
あたま まおな
熱海 稀央奈さん(2年)
仙台市立原町小学校



審査員奨励賞

北海道・東北ブロック

おくむら りお
奥村 璃音さん(2年)
能代市立二ツ井小学校



審査員奨励賞

北海道・東北ブロック

わち
和知 ひかりさん (4年)
棚倉町立近津小学校



いつもありがとうございます
近津小学校 四年 和知 ひかり

わたしには、七つ年下の妹がいます。
名前がさくらと言います。妹が生まれるま
ではお父さん、お母さんを一人じめしていた
あたしですが、さくらが生まれて一人じめで
きなくなりまし。お母さんのおなかの中に
いた時は、「はやく生まれてこないかな」と
とま、ていたのですが、生まれるとすぐにさ
くらが入院になりお母さんが泣くと泣いてい
ました。そんなお母さんのすがたを見てあた
しは、さくらの事よりお母さんのしんばいを
してしまいました。

その時、おはあちゃん、さくらには、お
母さんのおなかの中で十月がんば、たんだ
よ。長い時間がんば、こようやく生まれきて
たのに、すぐにてんてきをするこことな、て
一番つらいのはさくらなんだよ」と、教えて
もらいました。あたしは、なみだがとまりま

せんでした。それまでは、また前のようにお
母さんを一人じめできるしと思、ていなか
たので、その考えがまちが、ているときづ
きました。その後、さくらにはぶじにたいいん
して家に帰、てきました。あたしは、学校が
ら帰ると毎日さくらのおせあをししました。ミ
ルクをやったり、おむつを交かんしたり、泣
いてるさくらをあやしたりしました。毎日た
いへんでしたがさくらが笑うととてもうれし
くて、がんばりました。

今はさくらも、三オになり、自分でトイレ
に行くようになったり、わたしのまねをして
おどたりけんがをしたりします。最近はず
うことを聞いてくれなくてあばれんぼうなさ
くらですが、わたしの妹として生まれきて
くれた事に感、しています。さくらと毎日
笑ったり、けんがしたり、おふろに入、たり
い、しよにいたる時間がうれしいです。そんな
妹のさくらにいつもありがとうございますと伝えたいで
す。

審査員奨励賞

関東1ブロック

いのうえ そうた
井上 颯大さん (2年)
平塚市立みずほ小学校



さとう先生へ

こんにはちは。お元気ですか。
ぼくは夏休のはづいルに行って
あそんでいます。さとう先生はな
にしていますか。きょうぼくは、先生
にありかとうがったえたくて
お手紙を書きます。

きゅう食のテストをして
くれてありかとうゴゴイまし
た。いつもきゅう食吉のこすこと
が多か、たんで、すか、先生
がテストをしてくれたおかげ
で30点まん点とるぞ。
と、い、きもちか、おねか、ら、は、
とき、パン、お、か、す、き
お、か、わ、り、プ、キ、る、よ、に、な、り、ま、し、た。

井上 颯大

かてり、さ、り、え、ん、て、と
れた、オ、ク、ラ、ト、パ、プ、リ
カ、デ、ス。

きゅう食が、ち、よ、つ、わ、か、つ、た、ほ
くに、ゆ、り、き、さ、く、れ、ま、し、た。
あ、した、も、い、ほ、い、食、べ、て、お、か、わ、り
ま、し、よ、う、か、な、と、思、い、ま、し、た。
ぼ、く、に、き、く、り、食、を、食、べ、れ、る
ゆ、り、き、を、く、れ、て、あ、り、か、と、う、ゴ
ゴ、い、ま、し、た。

審査員奨励賞

関東1ブロック

よしだ ゆう
吉田 悠さん(1年)
 江東区立第三砂町小学校



パパへ

パパ、こんなにたのしいおみに、つれて
 来てくれて、ありがとう！ いかだボートに
 のって、かおをっこんだり、うみのほうに
 むいてなみで「ちゃんっていったり、
 すなのほうにむかって、なみが「ガバ」ってきた
 しおみずののって、どんどんすなはまの



ゆうより

ほうへながされて
 あてんだり、たの
 しくて、まいにち
 仲りが「たじまで」
 やりたくなったよ。
 パパ、いかだボ
 ートをかってくれて、
 うみでは いかだ
 ボートをおさえて
 くれたり、いっしょ
 のってくれたりして
 ほんとうにありが
 とう。またたのしいお
 みに つれて来てね。

審査員奨励賞

関東1ブロック

やました のりか
山下 雅可さん(2年)
 横浜市立左近山第一小学校



おばあちゃんへ

わたしは、おばあちゃんに心の中でありがとうと
 思っているけど、口では言えないことがあります。
 おしごとではやくいを出るお母さんのかわりに、わたし
 が学校へ行くのを、みおくらせてくれること。
 学校がいえへかえってくる時も、なごいごとからかえ
 ってくる時もそのじくになると、いつも外でまてられ
 ること。

心の中で、「おばあちゃんは今もまていてくれるな」と思
 っているけど、ありがとうと言うのがはずかしくて、いっ
 言えずにいます。

お友だちのおうちの人とは、外でまててはいないのに
 わたしだけまたれるとわたしだけ赤ちゃんみたいだ
 と思ってしまう。でもそれは、またれるわたしが赤ち
 ちゃんみたいなのではなくて、わたしのことをしんば
 いする、おばあちゃんのやさしさなのだとお母さ
 んに教えてもらいました。

これからは、はずかしくないで、ありがとうと言え
 るようにしていきたいです。だからこれからもわた
 しのことをみまもっててください。



2010年9月 山下 のりかより

関東1ブロック

まつの ももこ
松野 桃子さん(3年)
川崎市立久本小学校



耳たぶ
おじいちゃん、私の耳たぶは大きい。わたしの
耳たぶは小さい。
いなかに行くと、わたしはいつもおじいちゃん
の耳たぶをさわらせてもらう。よくのびて
やわらかい。たまにわたしはおじいちゃん
のことを「耳たぶくん」とよぶ。おじいちゃん
はわらってへん事をしてくれる。いつもやさ
しいおじいちゃん。大好きなおじいちゃん。
おじいちゃん、体のぐあいがあるくなって
しばらく会えなかつた。ずつと耳たぶもさわ
れなかつた。夏休みになつて、おじいちゃん
は天国へ行つてしまつた。
おそろい式するとき、おじいちゃん、私の耳たぶ、
や、ばり大きかつた。さみしくてなみだがほ
ろぼろ出たけど、楽しかつた。思い出もい、ば
いだよ。ありがとう。ありがとう。
わたしは耳たぶがおじいちゃんみたいにか
きるようになるよ。毎日ひっつけているよ。

松野 桃子



関東1ブロック

はまざきみのり
濱崎 未乃梨さん(4年)
横浜市立十日市場小学校



てで にて るた ので てん とし 面 たん し年 をか わ 二
く安 そあ い日 しう で自 しも 無 てで で た 十 伝 え た 帆 コ ひ
だ心 れり き ま 達 す 分 ま お 理 手 し で た 十 月 た し は り わ
さし で が ま で 家 帆 ね の な を じ た も じ と 月 た し は り わ
いて は と す 族 ち 命 た か し り して 十 日 か げ ま
す う 良 は や ご を の の て っ そ く も 一 と 日 か げ ま
ご 天 本 い ん め か で 中 し 入 か れ の 小 日 思 帆 安 け ま
し 国 当 心 遠 が ん け す で ま 院 月 が 股 さ ち 十 ち ち ち
しい 必 な て ね 苦 し 前 最 が な あ て 回 か い す
つ っ
か か 守 を れ て ら て た 最 に い に し は お ざ を 向
り あ っ 守 て マ で し 期 合 ら 初 た た し 向
大 な て し も マ す マ が の し め ず ん て い て
切 た く て て 小 が マ 大 悲 て いて 平 生 いて
に に れ あ く さ ら 帆 が け しい 赤 会 死 と 日 ま 二
生 会 た り れ な 外 ち う が い ま ち い 十 お を す 二
き え わ が た 体 れ ん を 対 し ま 六 れ む か コ

濱崎 未乃梨



関東2ブロック

いまい さあや
今井 彩絢さん(1年)
さとえ学園小学校



たかだせんせいへ

わたしをおよげるようにしてくれて、ありがとう
ございます。

いまで、おとうさんにもおかあさまにもようちえん
のせんせいにもおそわったけど、こわくてみずいかお
なづけられませんでした。でも、たかだせんせいが、
すこしづつやさしく、おもしろたのしくおしえてくれたので
だんだんみずがこわくなくなって、もぐれるようになりました。

みずのなかからそらをみたら、キラキラひかって
すごくきれいでした。みずがういてると、いんぎ
になつたみたいで、すごくきもちがいいです。

せんせい、あたらしいせかいをみせてくれてありがとう。

これからも、もっともおよげるようにがんばります。



関東2ブロック

ねもと らん
根本 蘭さん(3年)
常陸太田市立佐都小学校



さか上先生へ

わたし 本当に とび上がるくらいうれしかったんです。
先生がまわってくれたから、11ページもある国語の教科書
「きつきの商売」をあんしょうすることができました。
いつも、おふろの中でれん習して、同じところでつかかり
くやしい思いをしていました。

何度もやめようかなあと思っていました。

「できるまでまってるよ。」
毎日日記で、先生からのコメントを言読んで、がんばろう
という気持ちにかわっていききました。

あんしょうを発表するとき、自しんがなくて手を上げられ
れずにいたら、先生がもう一度聞いてくれました。

「矢はいいはせいこうのもと。」
そう思い、思いきって手を上げてちょうせんしました。

「らんちゃんおめでどう、まちがえないでよくがんばったね。」
て、先生に言われたとき、わたしはびっくりして、心ぞう
のドキドキが止まりませんでした。

先生は、大きなキラキラシールを国語の教科書の
表紙にはってくれました。

あんしょうをあきらめずにさい後までがんばれたのは、
先生のおかげです。

さか上先生ありがとう。
あの大きなキラキラシールは、これからもずっとわたしの
心の中で かがやきつづけます。

根本 蘭 より



関東2ブロック

ひだか あき
日高 杏紀さん(2年)
勝浦市立勝浦小学校



わたしはマンションにすんでいま
ます。マンションのロビーやエレベーターを
おじちゃんやおばちゃんがそつじを
してくれまます。
まどガラスがいつもカカカで
けしきがきれいに見えます。
「学校に行くときには
いつてらうしー
とわらうてと口をくれてまこちよ
く学校にいけまます。
たまにあらわいとキキはまみしいぐら
いです。
おばちゃんやおじちゃんに
マンションをきれいにしてくれて
ありがとうブゲイまます。
と言いたいけどキキをまっしこい
まます。
すぐにあらわつをしておはなしが
でキキをまっしこいと思
います。
いつもありがとうブゲイまます。



関東2ブロック

たかはし みゆ
高橋 美優さん(4年)
さいたま市立木崎小学校



美輝へ

妹よ、生まれてきてくれてありがとう。
君が生まれてから、家族の笑い声かふえて幸せか
ふえたよ。だから、君には、とてもありがたいと思っている。
君は、とってもおもしろい子だね。私が
追いかけるといつも笑ってにげていく。
学校へ行く時ハイハイしてげんかんまで
追いかけてくれる。学校から帰って来たら、
いつもニコニコ笑ってでむかえてくれる。
そうじ機をかけると私にしかみついて泣くところも
私はそういうところがかわいいなと感じる。
そのおかげで、お父さんもお母さんも君の事を
かわいがってくれているんだよ。もちろん私もね。
私は、他にもありがとうという気持ちになる事があるんだ。
それは、君の世話が出来る事だ。
今まで友だちの妹や弟などを世話してきたが、
一日中は、いないので一人になるとつまらなかった。
でも今は、君が家に一日中いて、かわいがれるから楽しいんだ。
今から、もっとありがとうと思うことがいっぱいあるよ。
いつか、君がしゃべれる様になって「お姉ちゃん」って言ってくれる事を
楽しみにしてるよ。いつまでも仲の良い姉妹でいようね。
約束だよ。
美優より



審査員奨励賞

関東2ブロック

さとう ゆうま
佐藤 侑真さん(4年)
大田原市立須賀川小学校



ありがとう おじいちゃん

No. _____

DATE . . .

おじいちゃん、は、ぼくが6才のとき病気で亡くなりました。
おじいちゃん、は、小さいぼくに色々なことをしてくれました。
でも、ぼくは「ありがとう」と言うことが出来なかったのでこの手紙
を書こうと思いました。その中で、思い出に残っていることがたくさん
あります。



いつも車に乗せてもらって公園につれて行ってもらいました。
暑い夏や涼しくなるとつがれた後にはアイスクリームを買ってもらい
ました。他にも買い物に行き、おかしを買ってくれました。
一番の思い出は、ぼくが元気がないときぼくのひざに疔の
絵を書いて笑わせてくれたことです。それでぼくは、元気付け
られたので今も元気が出ないときなどは自分の指に疔の
絵を書いて元気を出しています。



ぼくのおじいちゃん、は、きびしい所もたくさんあったけれど
思い出すのは、やさしかったおじいちゃんだけです。
そんなおじいちゃんがぼくは大好きです。そして、心から
「おじいちゃん、ありがとう。」と、言いたいです。

四年 佐藤 侑真 より

7mm×34行



審査員奨励賞

中部・東海ブロック

とりい ななほ
鳥居 七帆さん(2年)
蒲郡市立塩津小学校



2年2組鳥居七帆

ねえさんへ

ねえさん、いつもいろいろなことを、
教えてくれてありがとう。

ねえさんは、ママのお女市ちゃんだから本当は
おばちゃんだけど、いつの間にかねえさんって
ぶいよになったね。わたしが生まれたときから
いつもしごとの帰りによって、わたしのめんどうを
見てくれたからママごうだね。

これはママに言うとショックって言うけど、
おるママにごはりもママごうの方か女子きときが
あるよ、エヘ。

すぐ車いしちゃうわねけど、ねえさんがいっしょだと
いろいろなあそびで楽しませてくれるからせんせん
大じょうぶなんだ。

ねえさんマジックはすごいね。

ねえさんはせかが高く、足も大きいからなかなか
合うつかないけど、わたしが大人になったら
いっしょに外国でピッタリのムフを買おうね。

ねえさん大女子き♡ありがとう。

これからもずっとよろしくおねがいします。

七帆



審査員奨励賞

中部・東海ブロック

たけなが きょうか
武長 杏佳さん (3年)
 美浜町 弥美小学校



大好きなお母さんへ
 お母さんは、習字が上手だね。「ここを
 こうすれば、もっと良くなるからな。」と教え
 てくれるので、習字の先生になれそう
 です。それに、料理もおいしいね。今度
 は、料理を教えてね。本当にありがとう。
 お母さんは料理のバランスをきちんと考
 えて作る。本当に好きや。

三年武長杏佳



審査員奨励賞

中部・東海ブロック

はらだ しおん
原田 詩音さん (3年)
 美浜町 弥美小学校



母ちゃんへ
 原田 詩音
 母ちゃんは、いつもいそがしそう
 でお家の事と、仕事と大へんなの
 にちゃんとはくべん強を見てく
 れたり、走るれん習をいっしょに
 てくれます。いっしょに、夜にクワカ
 ちとりに行ったり、キモチめし
 したり、とっても楽しいです。お
 りごわいけい、ぼくのためにお
 ってくれてるんだなと、お断りが
 てきました。マラソン大会の時
 に、いつも自分のなとくのかい
 走り方をいっしょに、とって来て
 うれいであたから、ぼくは、い
 つもがんばって走れます。母ちゃん
 は、お父さんの分もがんばらな
 くちゃいけないから、とって
 も大へんだと思ひます。

でも元気な母ちゃんが、大す
 きで、おれから、ぼくたちを
 いっしょに、おれから、ぼくたちを
 やんとおはあちゃんに、おれ
 しゃして、いっしょに、おれから
 たら、みんなを、おれから、
 も長生きして、元気でいて下さる。



いつもありがとう。♪

審査員奨励賞

中部・東海ブロック

増田 夏妃さん (6年)
 焼津市立港小学校



天国のお父さんへ

お父さんが天国へ行ってから、もう、五年がたつて、私は小学生最後の夏休みを楽しく過ごしています。お父さんは私が寝る前と毎日、絵本を読んでくれました。私は一日の中でこの時間が一番好きでした。お父さんが読んでくれた絵本の中で「おぞかドブスーン」が大好きでした。お父さんが「大きな大きなおぞか……」と言った後、お父さんが「ドブスーン」と合わせて言ってお父さんの顔を見上げると、優しい笑顔で笑っていました。お父さん、お父さんから本を読む楽しさを教えてもらいました。私は今、本を読むことが大好きです。お父さん、ありがとう。お父さんとの思い出は、私の宝物です。お父さん、ありがとう。夏妃より

審査員奨励賞

中部・東海ブロック

長田 莉奈さん (6年)
 甲府市立甲運小学校



ランドセルへ

あの日、君と出会ってから6年間も経ったなんて思えないくらい時は早く……
 雨の日も風の日も君を背負って登校したね。最初、君を見た時は、大きいと思ったのにも6年経った今見ると、そんなに大きいと思わないんだ。君と一緒に笑ったね。時には一緒に泣いたね。私と君は一緒に時を過ごして一緒に成長したね。私が授業を受けている時は、がまん強く待ってくれたね。君は、教科書を何冊も入れて重かったよね。ごめんね。だけど、君は顔色つ変えなかったね。すごいね。もう、私と君は、親友だね。ふだん、何気なく使っている君だけど、やっぱり君がいないと、不便だよ。さみしいよ。君の存在はすごく大きいんだよ。だから本当にありがとう。あと一年間もないけれど、最後の最後までずっと一緒にだよ。

莉奈より

関西ブロック

きのした なぎさ
木下 渚さん (1年)
大阪市立啓発小学校



パパ、ありがとう
きのしたなぎさ
パパはいつもびゅういんのかえりに、おみやげをかってもらって、うれしかったです。パパはぎゆうに、ういんでもおみやげをくれます。でもないけれど、ケリスマスのひのまえにヘルパーさんによるケリスマスウィリーをかってもらいました。ウィリーはあたたかです。かくてびゅうくりました。しゅうかくせいになるまえに、パパ、ママとびゅうくりにケリスマスでかいものをくれました。おみやげのランドセルをかってもらいました。そのあと、パパはびゅういんしました。
パパはあたしのびゅうかくしきにでんぶきせんでした。ランドセルのさがたもみられませんでした。
あるひ、パパはおひさまになって、おひさまになって、てんごくにいよいよマママカりました。あたしはほんとうのパパの

コクニ ケーシ 20×20

かおをみたくてがまんかたできなるときはあひさまやあひさまをさがします。どっちもみられたいときはあひさまです。みられるときはあたしをかいてもちにだて、パパのあひさまをみます。
ぎゆうにつかあたしのせがケリスマスウィリーよりもたかくなります。
パパ、ほんとうにありがとうございます。

コクニ ケーシ 20×20

関西ブロック

いそもと らいむ
磯本 頼夢さん (1年)
姫路市立高浜小学校



ひょうづくんありがとう ねんくみなま (いそもとらいむ)
ぼくは、たのしみにしてたかましましゅうがっこうにうがくしました。おおきいのが、こう、おおきいうんどうじょう、たかさんのおともだちがびっくりしました。ぼくは「がんばるぞ」とおもいました。でも、おとこのこのおともだちはひとりでできた。ぼくは、すぐにおともだちができてさみしくなりました。かっこうにくのかいやになりましました。そんなとき、おなじようはんでらねんせいのみょうごくんが、らいむ、おはよう。いっしょに、かっこうへいこう。と、おつかいでくましました。それからいっしょにちゅうごくくんはてをみつないでいっしょに、かっこうへいっつもとをつないでいっしょに、かっこうへいっつくおありがとう。



関西ブロック

たなか しゅうへい
田中 脩平さん(1年)
西宮市立東山台小学校



じいちゃん、ばあちゃんへ ♡

なつやすみにひとりでおとまりさせてくれてあ
りがとう。いくまえはひとりでおとまりできるかなと
しんぱいだったけどぜんぜんさみしくなからたよ。
なぜかというじいちゃんとはあちゃんとい
っぱい、いっぱいあそびたからだよ。

じいちゃんとキャッチボールをしたね。①
まだぼくは、ぼうずになげれなくてごめんね。
もっともっとけんしゅうをしてうまくなげれる
ようにがんばるね!

ばあちゃんとは、かみそりのへいくときじけんしゃの
うしろにのせてもらったね。ぼくは、ばあちゃん
とじてんしゃにのるのがだいすきだよ。
ばあちゃんのごはんもだいすきだよ。

かえるとき、ぼくはもっといっしょにいたくて
くるまのなかでないうちだったよ。ふゆやすみに
あえるのをたのしみにしてるね。
たのしいなつやすみをありがとう。田中脩平より



関西ブロック

さのかわ たつろう
佐野川 竜郎さん(5年)
西宮市立東山台小学校



いつもありがとう
五年二組 佐野川 竜郎

お父さんいつもありがとう。
いつもお仕事を帰りが遅くてつかれている
と思います。
休みの日くらい家で、くつろいでほしいです。
のには休みの日はいつも野球のコーチとして働
きに野球の指導もしてくれてます。
正直、どうしてここまで熱くされるんだろ
うかと、どうしてこんなに元気なんでしょうと
思う時もあるけど、それは僕達の事を一生懸
命で考えているから無理してでもかまは
ないです。そんな話を一番が、こころはすの
か一番言うことを聞かないことが多くて、ごめ
んなさい。これから心を入れかえて一生懸
命頑張ります。

お父さんは普段はどてろ着いけど、僕達か
成功してはじめてくれた時に見せる笑顔と、僕
達と一緒にいっしょに子供みたいにはしゃいで

いる姿を見るにはホッとする感じがすると思
います。
大人気の子供のかわいらしい顔がある
けれど、そこが父さんの良い所なのだと思
います。
お父さんはいつも僕達のようには、
「決して野球選手にはなりたいわけでは無い、今
はさかうか、かまはさうでもないけど、じいさん
いっしょに小学生の時期に大喧嘩仲間だぞと一晩は
同じ目標に向か、てか、いっしょに、これからは
先ん大人生活を少しとして、一年のせいさ
人になる。そういうことを野球を通してみん
さんに伝えたいだけなんだ。」
とき、ていませ。

僕もまた、この言葉の本当の意味は理解で
きていないけど、今この仲間たちと一緒に野
球をやることで、今までの練習、試合で練習
の成果を出すことで勝つことか、この
時の喜びは有るものに代わりたいものがある
ます。き、とそういうことか、いっしょに、

また、僕では君達の勉強や掃除も教えてく
れます。スポーツだけでなく読書を使うことも
得意なお父さんです。と元々、
僕はこれからは野球だけでいいです。勉強
なども頑張りたいと思っています。
このようにお父さんには、「いつもありがとう」
という言葉を一つで一杯です。
「ありがとう」今だけじゃなくて十年後も心の
底からこの言葉をとお父さんに伝えるようにな
りたいです。



審査員奨励賞

関西ブロック

まつなみ
松浪 そらさん (4年)
智辯学園和歌山小学校



Stuffed Bears
Happy holiday

大女子なおじいちゃんありがとう

おじいちゃんありがとう。たくさん色々なことを教えてくれてありがとう。

私は幼稚園に入ったところぞうきんをしぼる事が出来ませんでした。手の当て方しぼり方を教えてくれたおかげで今は当たり前のようにしぼれるようになりました。

宿題をしていると

「どれどれ」

と言って横から覗くと教えてくれました。今も分からなくて困っているとおじいちゃんが横に来てくれそうだけど今はもう空の上。いつもやさしくて私のスーパーマンだった

おじいちゃん。もう一度おじいちゃんに会って色々なことを教えてもらいたいな。

もうすぐ秋おじいちゃんが大好きだったお祭りの季節です。空の上から見るとさうな大好きだったおじいちゃんありがとう。

I think it might surely be happy!



審査員奨励賞

中国・四国ブロック

くにさだ じんゆう
國貞 慎由さん (1年)
今治市立大三島小学校



14

ありがとう
一ねん くにさだ じんゆう
ぼくは、おとうさんとおかあさんがおしごとをしているので、じどうくらぶにはいっていません。
が、こうがおわると、じどうくらぶにいけます。おとうさんと、しどういんのりさちゃん、ちづちゃん、さおりちゃん、さんかわさんが、「おがえり」
と、ぼくにいってくれます。そして、ぼくは「たごいま」
と、いって、が、このしゅくたいをします。しゅくたいがわからないとき、やさしくおしえてくれます。
しゅくたいがかわると、おせつのじゅんていをしてくれます。とてもおいしいです。
そのあと、いえにかえるまであそびます。ともなちとけんがとると、あそびてくれます。なかなおれでできます。

しどういんさん、いつもいっばいありがとう。ぼくが、おうちでひとりです。できないうとを、おせわしてくれて、さみしくありません。ぼくには、が、こうがおわるとこつが立るところがあつて、よかつたです。

くにさだ じんゆう



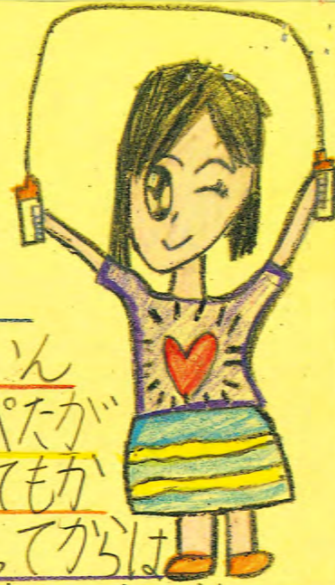
審査員奨励賞

中国・四国ブロック

みょうじん ひなこ
明神 陽奈子さん(1年)
 土佐市立新居小学校



みかこへ



おねえちゃん、みかこが
 だいすきだよ！
 みかこがうまれたとき、びゅうしん
 いってみかこをみたよ。ほっぺたが
 ひんくいろになっていて、とってもか
 わいかったよ。あそべるようになってからは
 おもちやをたくさんだしたり、おおきなこえでないて
 びゅりしてこまったこともあったけどね。おねえち
 ゃんが、こうでしかがしてかえってきたらお
 ねえちゃん、だいじょうぶ？いつもいってくれるから
 うれしかったよ。はやもとおおきくなって、いっしょに
 ふたりなわとびとか、かくてあそぼ。しょうが、こ
 うにもいっしょに、こうおねえちゃん、みか
 ことしてをつないでいきたいよ。みかこはいつまでも
 おねえちゃんのたからものだよ。
 みかこがうまれてきてくれておね
 えちゃんにしてくれたのが、いちば
 んうれしかったよ。



おねえちゃんより



審査員奨励賞

中国・四国ブロック

やまがわ けんた
山川 健太さん(2年)
 高梁市立西山小学校



大ずきなお父さん、お母さんへ
 今年は毎日あついで日が続いたから、トマト
 のしごとにはたいへんだね。あせびしよびしよ
 で、なんどもシマワーをあびていたね。
 三月からなえつくりがはじまって、デント
 はり、ていしよく、しゅるかくと、十二月こ
 ろまで、ずつといそがしいね。とくに、出か
 かはじまると、ぼくたちがあそぶころには、
 はたけに出ているね。だから、あそびはんば
 あそびと二人だけ。本当は、一人でトイレに行
 くのもこわいから、がまんしているんだよ。
 それでも毎日かならず、ぼくたちとあそぶ
 時間をつくってくれるね。やさしくやバスケ
 ットで、一時間くらいあそんでくれてありが
 とう。つがれていて、ほくたちもせんかであ
 そんでくれるね。ぼくたちの三とがたまきな
 んだね。だからぼくも、大ずきだよ。生まれ
 てきてよ。た。しあわせだよ。ありがとう
 これからも、おしごとがかんばつてね。ぼく
 は、けんた
 けんた



まつもと そういちろう
松本 壮一郎さん(2年)
 三原市立糸崎小学校



中国・四国ブロック

パパへ

しごとから帰って、いっしょにサッカーややぎょうをしてあげてありがとう。休みの日は、さかやプールにつかえらるね。しごとをしてかえっているのは、パパはいつも元気だね。ぼくは、パパが大スキだよ。

まい日^毎といっしょにおふろでクイズを出しあってとてもたのしいよ。パパのもたはいはむずかしいよ。

ねるまえには本一さつよんでくれてありがとう。よものか上まで、え本の中にあるみたいで、クワクワするよ。でも、こわい本ね。むときはあまりこわい声をたさないでよ。

ねるときは、パパのふとんでいっしょにおせせてくれてありがとう。ぼくがパパのせなかにはぎゅとつぶしてねると、パパはあついなと言わど、あたたかくて気持ちがよくて、ぐっすりねむれるよ。で、ん気がきえるよ。すびうぐらいてねているね。パパはしらないと思うけど、ぼくはもとパパに、つぶしてねているんだよ。こわいから、すびとパパといっしょにおたいな。大スキなパパ。おしごとがかんばってね。ぼくもべんぎょうかんばるよ。

そーろろより



とだ なおひで
戸田 直秀さん(6年)
 南国市立稲生小学校




中国・四国ブロック

あたかノート

ぼくのお父さんは、いつも連絡帳にコメントを書いてくれます。担任の岡崎先生に読んでもらうためです。そのコメントは、ぼくが家でやっていることや、今日の出来事です。

六月三日は、ご飯をたいたことを(き)っと、おいし(ぞ)と書いてくれていました。その日の晩ご飯の時には、
 「ご飯、おいし(ぞ)直。」
 と言ってくれました。作って良かった。と言ってくれました。作って良かった。

六月三日のぼくが新聞をバックを作ったのを見た時のコメントは、
 「バックを見せてくださいました。なかなかいい出来でした。」



とほめてくれました。今度はお父さんと一緒に作りたいです。もちろん先生は、ぼくにお父さんは、毎日欠かさず書いてくれます。そのコメントは、ぼくのうれくなる言葉ばかりです。だから、連絡帳を「あたかノート」と呼んでいます。ぼくも、お父さんの書いてくれたコメントをいつもそり読んでいます。読むたびに心が温かくなります。

だから大人になったら、お父さんのようにみんなの心を温かくする大人になりたいです。そのため、人に合った言葉づかいをします。そしてお父さんをぬきたいです。ありがとうお父さん。




審査員奨励賞

九州・沖縄ブロック

たまだ ゆうと
玉田 憂斗 さん (2年)
福岡市立平尾小学校



ありがとう。いっばい、いっばいありがとう。
 「おかあさん、はると、毎日大へんなのに
 今ぼくは、べから言いたいです。
 り前までは、言っていたのにだんだん、あ
 し前のことは、さききんぼくは、ありがとう
 う。のことは、さききんぼくは、ありがとう
 もえらいます。ぼくには、できないこと
 させているのにおこたりしません。とて
 だから弟には、さみしい思いなどたくさん
 で、毎日ぼくにつき、きりです。
 てくれす。じゅう日なので、毎かいついて来
 い外はれんしゅう日なので、月曜日と水曜日
 おかあさんは、大へんです。月曜日と水曜日
 ぼくは、バスケットに入っています。
 ケットボールクラブに入っています。
 ぼくは、一年生の時から、ひらおミニバス
 ありがとう
 二年 玉田 ゆうと

審査員奨励賞

九州・沖縄ブロック

はせがわ
長谷川 さくら さん (2年)
那覇市立垣花小学校



じいじとはあはへ

元気になっていますか。
 わたしは元気になっています。
 沖縄に引っ越してきてから、一年がたちました。
 春はポカポカあたたかいですね。
 なつはせみもなくてあつい日がつづきますね。
 あきは、まつぼっくり、どんぐり、おちはがふ、えます。
 冬は、ゆきがふりますね。でも、沖縄はふりません。
 なかなかあえないけど、電話をして、ハンバーグや
 おもちが食べたいとおねがいすると、すぐこ
 作っておくってくれるからうれしいです。
 じいじが作るハンバーグは、チーズが入っていて、
 とろーりとして、おいしいよ。
 はあはが作ってくれるまっ白なおもちは、ビヨーン
 とのびて、もちのいいにおいにして、おいしいよ。
 これからも色々なものをおくってください。
 わたしは、じいじとはあはのえがおか大女子です。
 いつでもいいから、わたしの家にあそびに来てね。
 まってるよ。けんこうにすごしてくださいね。

さくらより



審査員奨励賞

九州・沖縄ブロック

おかだ けんせい
岡田 健成さん(6年)
福岡市立南当仁小学校



審査員奨励賞

九州・沖縄ブロック

こやま みく
小山 美紅さん(6年)
南九州市立勝目小学校



地域の方々へ

地域の方々、いつも、地域のために清そう活動など取り組んでくださりありがとうございます。

わたしは、地域の方々が見守り活動など取り組んでくださっているのを見て、自分たちでも少しづつボランティア活動(清そう活動)など地域のために取り組んでいきたいと、活動の様子を見るたびに思います。それと、簡単にポイとごみを捨ててしまう人たちがいるけど、かげで清そう活動に取り組んでいる方たちもいるので簡単にごみを捨てないでほしいと思います。これからは、自分たちも進んでボランティア活動など取り組んでいきたいと思っています。

勝目小学校
6年 小山美紅

審査員奨励賞

九州・沖縄ブロック

増田 駿矢 さん (4年)
日置市立住吉小学校



ぼくの女未へ
日置市立住吉小学校 4年 増田 駿矢
はじめまして、ぼくの女未ちゃん。
きみは、まだ、おかあんのおなかの中。
今のところ、ぼくは、未子なんだ。ちょっと
あまえんぼうなんだ。
8月24日は、きみの出産予定日。この日を
家の方みんなが、楽しみにしているよ。おち
ろん、ぼくも今から待ち遠しいよ。その日から
ぼくはあまえんぼうをやめるよ。そのかわり、おに
いちゃんとおぼくにいっぱいあまえてね。
きみが生まれたら、一番にぼくがだっしてあげ
たいな。おなかかすいたら、ミルクをあげるよ。
おむつもかえられようになるからね。
女未ちゃん、きみてすごいわ。生まれる前から、
こんなぼくをお兄ちゃんにしてくれている様。きみに
初めて会えたら一番に言うね。
「ありがとう」って。

学校賞

北海道・東北ブロック



青森県弘前市立東小学校

校長先生の
コメント

今回、コンテストに出す手紙を書いている時、
「ありがとうございます人が、たくさんいるね。」と、こどもたちが話して
いました。この素直な気持ちをこれからも大切にしていきたいです。
本当にありがとうございました。

学校賞

関東1ブロック



東京都国分寺市立第五小学校

校長先生の
コメント

この度は、学校賞を受賞できましたこと、とても嬉しく思っております。
今後も、「ありがとう」という言葉、そしてその心を大切にしつつ
教育活動を推進して参りたいと存じます。
ありがとうございました。

学校賞

関東2ブロック



埼玉県加須市立北川辺西小学校

校長先生の
コメント

たった一言で互いの心を温かくしてくれる言葉、「ありがとう」。
普段照れくさくてなかなか言えない身近な人へ、真心を込めて書いた
こどもたちの手紙が高い評価をいただき大変光栄です。これからも
「ありがとう」と素直に言えるこどもたちを育ててまいります。

学校賞

中部・東海ブロック



ぎふけん おおがきしりつ きたしょうがっこう 岐阜県大垣市立北小学校

校長先生の
コメント

こども達は、日頃感じている友達や家族、先生、そして
やさしく見守っていただいている地域の皆さんへの感謝の思いを、
素直に綴ってくれました。受賞を機会に、こうした思いをさらに強く
もってほしいと思います。賞をいただき、感謝申し上げます。

学校賞

中国・四国ブロック



ひろしまけん ひろしましりつ ひろせしょうがっこう 広島県広島市立広瀬小学校

校長先生の
コメント

学校賞をいただき、ありがとうございます。
本校は、四恩の教え(父母の恩、先生の恩、社会の恩、自然の恩)という
校訓のもと、感謝の気持ちを伝え合う学校づくりに取り組んでいます。
この賞を受賞することはとても嬉しいことです。

学校賞

関西ブロック



ひょうごけん すもとしりつ かもしょうがっこう 兵庫県洲本市立加茂小学校

校長先生の
コメント

我が校は、昨年来より絵手紙で自分の気持ちや思いを素直に伝える
活動を全校で取り組み、言語活動の充実を図っています。
周りの人に対する感謝や思いやりの心を、自分のことばで表現する力を
育てたいと思っています。今回、名誉ある賞をいただき
今後の励みとさせていただきます。

学校賞

九州・沖縄ブロック



かごしまけん あまぎちようりつ おかせんしょうがっこう 鹿児島県天城町立岡前小学校

校長先生の
コメント

この度の学校賞受賞を大変嬉しく思います。ありがとうございます。
「あいさつレインボー運動」の中に「ありがとうございます」という
内容を設けていますが、家族や動植物等への感謝の心が
育ってきていることを評価いただいたものだと思います。
今後のこどもたちの更なる成長を願っています。

こどもを応援するファミリーマートは こんな活動をしています



ファミリーマート夢の掛け橋募金

創立25周年を記念してスタートした、環境・社会貢献活動を行なう多くの団体を幅広く支援するための募金活動。募金していただいた皆さまと社会的な活動を行うNPO／NGOとの掛け橋としての役割を担います。世界のこどもたちと地球の未来のために、国内外で環境・社会貢献活動を続ける団体へ寄付することにより、その活動を支援します。



セーブ・ザ・チルドレン支援活動

ファミリーマートがタイに進出した1992年、セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン(SCJ)のアジアのこどもたちへの支援に賛同し、翌年から募金箱の全店舗設置を開始し、募金協力店としての活動をはじめました。



こども店長

2009年より、職場体験の受け入れとして、一部の店舗にファミリーマートのユニホームに身を包んだ、かわいい「こども店長」が登場。お店のスタッフから商品の並べ方や、レジでのお客さま対応などを教わりながら、ファミリーマートの仕事を体験していただいています。参加したこどもたちからは、「すこし緊張したけれど、たくさん買ってもらえてすごく楽しかった」、保護者の方からは、「働くことの楽しさと大変さをしっかり学んでもらえた」と好評をいただいています。



こどもバレーボール

2010年で30回を迎える「全日本バレーボール小学生大会」の特別協賛企業として、毎日の練習に励む小学生を応援しています。大会ではTポイントプログラムに参加する企業として募金活動を行い、日本小学生バレーボール連盟への寄付を実施しました。



ベルマーク運動への参加

「すべてのこどもに等しく、豊かな環境のなかで教育を受けさせたい。」というベルマーク活動の願いに賛同し、2008年から全国で発売しているおむすび全品にベルマークを付けています。人気のオリジナル商品「おむすび」(常時およそ20~25アイテム)のパッケージにベルマークを付ける、従来にない規模でのベルマーク運動の商品販売拠点です。



ファミリーマートのおむすびにはベルマークがついています。

“知るを楽しむ” Webコンテンツ

ファミリーマート「こどもEXPO」は、14のパビリオンを周りながら、環境問題をはじめとした社会の仕組みや、工場見学などのコンビニエンスストアの取組みを楽しく学べるスペシャルコンテンツです。さらに「わくわく☆学園」では、ゲームなどを通して勉強に役立つ情報を学びながら身につけることができます。ブックカバーを作ったり、スクリーンセーバーをもらえたりというお楽しみコンテンツもたくさん。2009年度 goo環境大賞ユーザー大賞受賞、2010年度Webグランプリキッズ部門ノミネート。

<http://www.family.co.jp/company/eco/expo/main>



森の“聞き書き甲子園”への協力

「森の“聞き書き甲子園”」の取り組みに賛同し、店頭での広報活動等に協力しています。毎年、日本全国から選抜された高校生100人が、森林に関わる仕事をしてきた「森の名手・名人」100人を個別に訪問し、これまでの経験を聞き出し、書き写して、後世に残していこうという取り組みです。人となり「聞き書き」して、その成果をまとめ、広く社会に向けて発信しています。



セーフティステーション活動

地域の皆さま・国・地方自治体のご協力のもと「まちの安全・安心な生活拠点づくり」に取り組む自主的な活動です。日本フランチャイズチェーン協会に加盟するコンビニエンスストアが取り組んでいます。ファミリーマートの店舗は2005年10月から全国の店頭にお客さまへの告知ポスターを掲出し、ビデオ・マニュアル等を通じてストアスタッフにもセーフティステーション活動の共有化を図ることで、「安全・安心なまちづくり」、「青少年環境の健全化」並びに「地域の交流」に向けた取り組みを行っています。



ありがとうの手紙コンテスト

こどもたちの豊かなこころを育み、思いやりの大切さを考えるきっかけとなるよう、全国の小学生を対象に、2009年から開催しました。こどもたちからは、家族や親戚だけでなく、友人や地域社会への感謝の気持ちがこもった手紙が数多く寄せられました。審査員長の池上彰氏からは「家族の絆が薄れていると言われることが多い昨今ですが、それを払拭してくれるような作品が多く本当に感銘を受けました。日本はまだ大丈夫だと思わせてくれる大きな意義のあるコンテストです」というコメントが寄せられました。